

英語紙芝居&絵カードで外国語活動をもっと楽しく

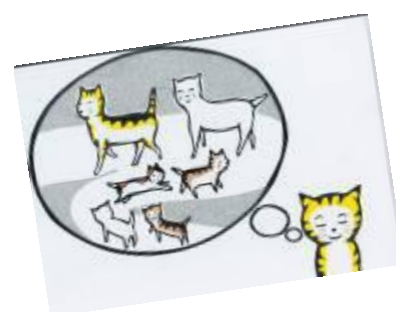
(紙芝居 作 坂井邦晃 監修 外山節子)

PEN の会 代表 坂井邦晃 ksakai33@gmail.com

Hi, friends!1 Lesson3 How many? Hi, friends!2 Lesson1 Do you have “a” ?の発展教材として

【英語紙芝居の改訂版登場】

2009年に、英語紙芝居の第1作目 **Max Is a Curious Cat** を制作しました。知りたがり屋のマックスが、様々な生き物に出会うというストーリーです。今回、英語教材としての紙芝居の世界観を見直し、ストーリーをより明確にした改訂版を制作しました。絵は切り絵にして雰囲気を一変し、子どもたちの視線をさらに引き付けるようにしました。



【多彩な活動が可能な絵カード】

登場する生き物たちの絵カードも作成しました。紙芝居の後に様々な活動を行い、子どもたちの発話を促します。8種類の絵カードのセットで、以下のような活動ができます。



1. **Memory Game** (神経衰弱)
2. **Contact** (番号のついたマス目の大判の台紙に順にカードを並べていき、同じ絵が隣り合った場合にもらえるというゲーム。)
3. **Charade** (当てっこゲーム。引いたカードの生き物を身体表現する。)
4. **Go Fish** (ババ抜きに似たゲームで、同じ種類の絵カードを2枚揃える。)
5. **UNO** (市販の UNO ゲームの応用。同じ種類または同じ色の絵カードを出す。)

どれも短時間(10~15分間)で行える活動です。モジュールの活動に最適です。詳しい活動方法は裏面をご覧ください。

【コミュニケーション力を育てる】

カードを使った活動を通して、子どもたちは自然に動物の名前を覚え発話します。子ども同士で英語のやり取りをすることで、コミュニケーション力が育ちます。

※紙芝居、絵カードのデータはPENの会のホームページに後日アップの予定です。

【絵カードを使ったゲームの方法】

1. Memory Game (神経衰弱)

カードを2セット使う。テーブルを2つに区切り、一方に1セット、もう一方に1セット、きちんと並べる。子どもは順番に、両側から1枚ずつ計2枚めくり、めくったカードの英語を言う。2枚同じならばカードをもらう。※発展として、絵カードの他に、単語カードを1セット用意して使うと、readingの練習になる。

1	2	3	4
8	7	6	5
9	10	11	12
16	15	14	13
17	18	19	20

2. Contact (同じ種類の絵カードを2枚揃える。)

絵カードを4セット用意する。大判の紙で左のような台紙を作る。1つの四角はカードと同じ大きさにする。絵カードの束を伏せて場に置く。子どもは順番にめくり、英語を言って台紙の数字の順に並べる。絵カードが隣り合って(横でも縦でも斜めでも)並んだら"Contact!"と大きな声で言って、並んだカードをペアにしてもらう。残ったカードは数字の順に詰める。詰めたとき、また隣り合うカードができれば"Contact!"と言ってペアカードをもらう。3枚コンタクトしたら、任意の2枚をもらう。全てのカードがなくなったら、絵カードのペアの数を英語で確認する。

3. Charade (当てっこゲーム。カードの生き物を身体表現する。)

カードを子ども1人に1枚配る。子どもは、その動物を、言葉を使わないで、動きで表す。他の子どもは"Are you (a cat)?"と聞く。当てた子どもと、演じた子どもの双方にポイントを与えるようにしてもよい。

4. Go Fish (ババ抜きに似たゲームで、同じ種類の絵カードを2枚揃える。)

絵カードを4セット使う。子どもに適切な枚数を配り、残りは場に伏せておく。重ねて置いてもよいし、広げてもよい。手持ちのカードに同じ絵カードが2枚あったら、絵を見せて自分の前に置く。子ども1は、任意の子どもに、"Yuki, do you have a cat?"と聞く。Yukiはa catを持っていたら、"Yes, I do. Here you are."と言って渡す。子ども1は"Thank you."と言い、Yukiは"You're welcome."と言う。Yukiがa catを持っていなければ、"No, go fish."と答え、子ども1は場のカードを1枚もらう。全てのカードがなくなったら、絵カードのペアの数を英語で確認する。

5. UNO (市販のUNOゲームの応用。同じ種類または同じ色の絵カードを出す)

絵カードを4セット (red, blue, yellow, greenのシールで色分けしてある。写真参照。ALMIGHTYも加える。) カードを混ぜて、適切な枚数を配る。残ったカードは場に伏せて重ねて置く。場の一番上のカードをめくり、練習する言葉を決める。例: I see a cat. こども1は、a catのカードを持っていたら"I see a cat."と言って、a catのカードを出して重ねる。a catのカードは無いけれど同じ色のカードがあったら、"I don't see a cat. I see (a dog)."のように言って、カードを出して重ねる。



ALMIGHTYを持っていたら、出すことができる。誰かがALMIGHTYを出したら、他の子どもは"What color?"と聞く。ALMIGHTYを出した子どもは、次に出す色を指定することができる。出すカードが無い場合は、"May I take a card?"と言って、場に伏せてあるカードを1枚もらってくる。手持ちのカードが1枚になった時は"UNO!"と言う。手持ちのカードを全部出したら上がり。

※このゲームの方法は、外山節子氏の児童英語教育概論授業の配布資料を元に作成しました。